

ヨーロッパで製作された古地図は、製作者の解釈や価値観を通して、その時代を映し出す文化的側面を持つとともに、周囲に施された装飾的な要素が美術的な価値を持っています。

16世紀中ごろまでは、日本はアジア図の中で、大陸の端に小さく丸や四角い形の島として空想的に描かれていましたが、日本についての情報と知識が増えるにつれて日本のみを単独に表した日本図が多く製作されるようになりました。

そのなかから古地図としての重要性和、日本という国

の形の変遷、装飾の美しさを基準に、12点の日本図を精選し、オリジナルの美しさを準高精細七色印刷で高級和紙に再現しました。

12点の日本図について一点ごとに日本語と英語の詳細な解説を附し、製作者や、時代による地図の変遷などについて学術的に説明しています。また、図書館や研究室に展示したり、応接室や書斎に飾ることができるように額縁が付属しています。

# 西欧古版日本地図精選

## Early European Maps of Japan

### 収録地図明細



オルテリウス/テイセラ「日本図」1595年



ダッドリー「日本と蝦夷、および朝鮮国と周辺諸島の地図」1647年



マルティーニ「日本図」1655年



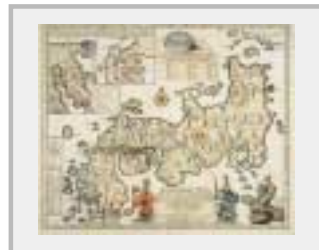
ヤンソニウス「新精確日本・蝦夷および付随諸島図」1658年



コロネリ「日本と朝鮮半島図」1692年



ゾイター「日本帝国図」1740年頃



ケンペル/ジョイヒツナー「日本図」1740年



テリオン「精確日本帝国図」1760年



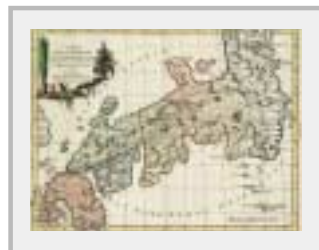
ボウエン「新精確日本帝国図」1744年



ロベール「日本帝国図」1757年



ベラン「日本帝国図」1780年

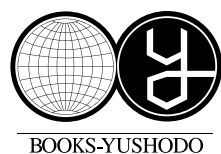


ザッタ「日本帝国図」1785年

複製版の大きさは原図と異なる場合があります。ご了承下さい。

- 古地図複製版 12枚(545×420mm)
- 準高精細 7色印刷
- 展示用木製額縁(1枚)つき
- 解説(B5判 16頁)
- 序文 荒俣 宏「古地図を味わう楽しみ」
- 地図解説 ルッツ・ワルター

一般書店では取り扱っておりません。小社宛に直接お申し込みください。



株式会社 **雄松堂書店** <http://www.yushodo.co.jp>

本社 / 〒160-0008 東京都新宿区三栄町29  
 TEL: 03-3357-1411 (代) FAX: 03-3356-8730 E-mail: sales@yushodo.co.jp  
 関西支店 / 〒604-0033 京都市中京区御池通西洞院東入ル  
 1-10-1 上田御池ビル  
 TEL: 075-222-0165 (代) FAX: 075-256-2032 E-mail: kb@yushodo.co.jp

### 複製版



雄松堂書店

# オリジナルにせまる、西洋古版日本地図複製の決定版

精選された12枚の古地図を準高精細七色印刷で美しく再現、〈洋古書の雄松堂〉が自信をもっておすすめします。

## 「古地図を味わう楽しみ」より

荒俣 宏

もうひとつ、古い地図には多くのカルトゥーシュやヴィニエツトすなわち装飾画が描きこまれていて、これがまた、よく観察すればするほど興味が尽きなくなる代物なのである。

筆者が好きなのは、ゾイターの日本国図(1740)である。伊豆諸島の下に大きな島の外形が描かれていて、羅刹国と銘記していないが、どうも女護島であるらしい。その右に、徳川の葵紋をはじめ有力大名の家紋が描かれている。この絵を見るかぎり、西洋人は丸い形の家紋をギリシア・ローマで盛んに作られたメダルと同じものと考えていたようである。

左下に描かれた「日本人の風俗」は、有名な「傘を被って歩く婦人」の図なども見え、当時ヨーロッパで入手できた怪しげな日本紹介書を丹念にチェックしていることも分かる。

筆者は、古い日本図を、まず図像として楽しみ、そのあとで当時の人々が想像した日本の国の形とその位置関係を検べて楽しんでいる。いわば三度おいしさが味わえる絶品の料理だといえるだろう。

料理?

そういえば、地図を意味するマップはラテン語で「テーブルクロス」をあらわすことばに由来し、図表(テーブル)という語も「食卓」と同じタブラから来た。そういう地図に盛られた地理情報は、文字通り、絶妙の料理にほかなるまい。

—解説(序文)より抜粋—

